

第3学年 国語科学習指導案

日 時 平成20年10月10日（金）6校時
場 所 3年生教室
児 童 男子5名 女子5名 計10名
指導者 島 田 欽 一

- 1 単元名 場面の様子をそうぞうしながら読もう
- 2 教材名 「ちいちゃんのかげおくり」（物語） あまんきみこ 作

3 単元について

(1) 児童について

児童はこれまでに「読むことの」の学習として、物語教材「きつつきの商売」「三年とうげ」を学習した。そこではふきだしに登場人物の気持ちを書きまとめたり、役割読みをしたりしながら登場人物の気持ちを読み取ってきた。その結果、登場する人物の心情を考え、工夫して音読しようとする児童が増えてきた。しかし、場面の構成やつながりを意識しながら読んだり、叙述に即して読み取ったりする力はまだ不十分である。場面の様子を想像しながら読み深めるまでには至らず、文章全体の大体をとらえるだけに留まっている児童がいる。そこで、会話文や登場人物の行動に着目させ、登場人物の心情を書きまとめる等の書く活動を取り入れながら叙述に即して読みを深め、豊かな想像力を育てていきたい。

書く活動については、課題に合わせて自分の考えを書きまとめようとする児童は増えたが、叙述に即して書きまとめることができない児童が2名おり、読み取りに個人差がみられる。

(2) 教材について

第3学年および第4学年の「C読むこと」の目標は、「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読むことができるようにするとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる」である。本単元の主たる指導事項は、「場面の移り変わりや情景を、叙述を基に想像しながら読むこと」「読み取った内容について自分の考えをまとめ、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くこと」である。

本教材「ちいちゃんのかげおくり」は、教科書で戦争を扱う最初の作品である。戦争で一人の小さな女の子が家族と離ればなれになり、家族を思いながら、ついにその命を奪われるという物語である。本文は、五つのまとまりから構成されており、特に最後の「それから何十年」かたった町の様子は、現代に生きる我々に平和の大切さと、それを守ることの尊さを示している。場面設定も明確であり、場面の様子を表す言葉や言葉の使われ方から想像を広げていくことができる。場面と場面を比較したり、それぞれの「かげおくり」に込められた意味や、ちいちゃんの気持ちを考えたりすることで読み深めていきたい。また、ちいちゃんの言動に着目しながらちいちゃんに十分に共感させ、家族の絆と平和や命の尊さという、本教材の主題に迫りたい。

(3) 指導にあたって

本教材では、文章の叙述に即して想像豊かに読み取る力を身につけさせたい。ちいちゃんの様子・心情を想像するだけでなく、想像したことから自分の考えを深め、それをちいちゃんの思いとしての吹き出しやちいちゃんへの手紙として表現させたい。

「つかむ」段階では、文章のあらすじをとらえ、「かげおくり」が本教材のキーワードであることに気付かせたい。また、初発の感想を基に児童が疑問に思ったこと、感じたことの中から学習課題をもたせたい。

「ふかめる」段階では、まず叙述を基に場面の様子を読み取る。時、場所、できごとを明確にした上で、場面と場面を比較したり、場面の移り変わりを想像しながら読んだりして、ちいちゃんの様子や心情に迫ることができるように指導したい。そして、ちいちゃんに十分共感させた上で、ちいちゃんの思いを吹き出しに書いたり、ちいちゃんに伝えたい思いを手紙に表すという形

で書く活動を取り入れたい。この活動を通して自分の思いを自覚し、友達との意見の違いに気付かせるようにしたい。また、5の場面では、それぞれの場面で書いた手紙を振り返り、「家族の絆」と「平和の尊さ」という本教材の主題に迫りたい。

「まとめる」段階では、心に残った場面を選ばせ、なぜその箇所を選んだのか、どんな様子を伝えたいのかを発表しながら、表現の仕方を工夫してまとめの音読に取り組みせたい。

本時では、「かげおくりでちいちゃんが家族と会えたことは幸せだろうか。」を課題として読み取りを深めていく。幸せかどうか分かるところにサイドラインを引きながら4の場面を読む。そのサイドラインをもとに、ちいちゃんは「幸せだと思う」「幸せではないと思う」のどちらかの考えに立ちその理由をノートに書く。サイドラインを引いた文章に着目して、自分の考えをはっきりと持たせたい。その後、意見交流をするなかでちいちゃんの家族に会いたい強い願いと戦争がもたらす悲しさをとらえさせたい。意見交流や板書をもとに、家族に会えたうれしさだけでなく、戦争の悲惨さや本当の幸せについて児童の言葉で書きまとめさせたい。

4 単元の目標と評価規準

主目標	○「場面」の状況を理解し、情景や登場人物の様子・心情について叙述に基づいて想像して、戦争時を描いた作品世界に迫る。	
	目 標	評 価 規 準
関心・意欲・態度	○言葉や表現に即して、場面の様子やその移り変わりを想像する。	○言葉や表現に即して、場面の様子やその移り変わりを自分なりにとらえて表現している。
読むこと	◎会話や動作を表す言葉をもとにして、情景を想像しながら読むことができる。 ○読み取った内容について自分の考えをまとめ、一人一人の感じ方について違いのあることに気付く。	◎会話や動作を表す言葉をもとにして、情景を想像し、作品の世界を広げている。(読ウ) ○読み取った内容について自分の考えをまとめ、一人一人の感じ方の違いを受け止めている。(読エ)
書くこと	○ちいちゃんの置かれた状況を考え、ちいちゃんの願いを感じ取りながら、ちいちゃんに手紙を書くことができる。	○ちいちゃんの置かれた状況を考え、ちいちゃんの願いを感じ取りながら、自分の考えを文章にまとめている。(書ウ)
言語事項	○表現したり理解したりするために必要な語句を増やし、また、語句には性質や役割の上で類別があることを理解する。	○表現したり理解したりするために必要な語句を増やし、また、語句には性質や役割があることをとらえている。(言エ(ア))

5 指導計画 (全10時間)

段階	時	学 習 活 動	評 価 規 準	書く活動
第一次	1	・全文を読み、心に強く残ったこと、不思議に思ったこと、もっと詳しく考えてみたいことを視点とした感想を書く。	・あらすじを捉え、視点に沿った感想を書いている。	●視点にそって感想を書く。

第一 次	2	・場面分けをし、学習計画を立て、学習の見通しをもつ。	・初発の感想を基に学習課題をいくつかもつことができている。	
	つかむ	・語句の意味を確認する。 ・新出漢字を練習する。	・難語句の意味を、辞書を使って調べている。 ・新出漢字を正しく読み書きしている。	
第二 次 ふ か め る	4	・家族みんなで「かげおくり」をした場面を想像し、読み取る。	・楽しそうにかげおくりをする家族の様子やちいちゃんの気持ちを想像し、読み取っている。	●家族が楽しくかげおくりをする様子が分かる文に書き込みをする。 ●ちいちゃんの思いを吹き出しに書く。
	5	・ちいちゃんが、お母さんとはぐれてしまった場面の様子を想像し、読み取る	・家族とはなれて一人ぼっちになってしまいうちいちゃんの様子を想像し、読み取っている。	●ちいちゃんの様子が分かる文に書き込みをする。 ●ちいちゃんに手紙を書く。
	6	・ちいちゃんが、お母さんとお兄ちゃんを待ち続ける様子を想像し、読み取る。	・防空壕の中でお母さんが帰ってくることを信じて待ち続けるちいちゃんの様子を想像し、読み取っている。	●ちいちゃんの様子が分かる文に書き込みをする。 ●ちいちゃんの思いを吹き出しに書く。
	7	・たった一人でかげおくりをするちいちゃんの様子を想像し読み取る。	・一人ぼっちのがけおくりにこめられたちいちゃんの思いを想像し、読み取っている。	●ちいちゃんの様子が分かる文に書き込みをする。 ●ちいちゃんに手紙を書く。
	8 本時	・かげおくりをして家族に会えたちいちゃんの様子を読み取る。	・かげおくりをして家族に会えたちいちゃんが幸せかどうか、叙述に即して読み取っている。	●ちいちゃんが幸せかどうか分かる文にサイドラインを引き、自分の考えを書く。
	9	・ちいちゃんぐらいの子どもたちが遊んでいる公園の様子を想像する。 ・ちいちゃんの願いを振り返りながら、ちいちゃんに手紙を書き、交流する。	・ちいちゃんが生きた時代と何十年後を比べながら公園の様子を想像している。 ・学習を振り返りながら自分の思いを書きまとめ、友達の意見と比べている。	●ちいちゃんに手紙を書く。
第三 次	10	・心に残った場面を選び、音読の練習をする。	・心に残った場面を選び、理由をつけて発表している。	

ま と め る	11	・場面の様子がよく分かるように音読をし、感想を交流しあう。	・聞き手を意識した音読を工夫している。 ・友達の音読のよさに気づき、交流している。
------------------	----	-------------------------------	--

6 本時の指導（8／11）

（1）目標

たった一人でかげおくりをするちいちゃんの様子から、ちいちゃんの願いや思いを読み取り、友達と考えを交流しながら、家族の大切さや戦争がもたらす悲しさをとらえる。

（2）授業仮説

本時の課題を「かげおくりでちいちゃんが家族と会えたことは幸せだろうか。」として書く活動を仕組み、その理由を文章に書きまとめさせることにより、叙述に即して読み取り、自分の考えを持たせることができるであろう。

（3）展開

段 階	学 習 活 動	支 援 と 評 価
つ か む 3分	1 前時の学習内容を想起し、本時の学習場面の範囲を確認する。 かげおくりでちいちゃんが家族と会えたことは幸せだろうか。	<ul style="list-style-type: none"> 一人で家族の帰りを待つちいちゃんの気持ちを想起させ、必ずお母さんやおにちいちゃんがもどってくると信じていることを確認する。 読みの視点として、ちいちゃんの様子や行動を読み取っていくことを確認する。
ふ か め る	2 学習課題を解決する。 (1)かげおくりで家族と会えたことは幸せかどうか自分の考えをはっきりさせる。 ○家族と会えたことは幸せだと思う人、手を挙げてください。幸せではないと思う人、手を挙げてください。 (2)範読を聞きちいちゃんの行動にサイドラインを引く。 ○先生が4の場面を読みます。みんなはちいちゃんの行動について気をつけて、「幸せ」「幸せでない」ことが分かる場所にサイドラインを引きながら聞きなさい。 (3)幸せかどうか、わかる文をもとにしながら、その理由をノートに書く。 ○ちいちゃんが幸せかどうか、サイドラインを引いたところをもとにしながら、その理由をノートに書きなさい。	<ul style="list-style-type: none"> 「幸せ」「幸せでない」のどちらかの立場かを確認する。 ちいちゃんの行動に着目させ、ちいちゃんが幸せかどうかわかる場所を見つけ教科書にサイドラインを引かせる。範読はあまり感情を込めずに、淡々と読みたい。 理由を書けない児童については、サイドラインが引かれていれば、それをもとにして考えるように指示する。サイドラインが引かれてなければ、支援しながら理由を考えさせていく。

<p>ふ</p> <p>か</p> <p>め</p> <p>る</p> <p>33分</p>	<p>(4)ちいちゃんが幸せかどうか、その理由を 発表し、意見交流する。 ○では発表してもらいます。最初に「幸 せである」と考えた人から願いま す。</p> <p>○次に「幸せではない」と考えた人、お 願います。</p> <p>○いくつかの考えが出てきましたが、他 の考えを聞いてどう思いましたか。</p> <p>(5)ちいちゃんかげおくりの様子について 読み取る。 ○ここにちいちゃんのかげおくりの挿絵 があります。1の場面と大きく違うの は何でしょう。</p> <p>○ちいちゃんにとっての本当の幸せとは 何だったと思いますか。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>●「かげおくりをしてちいちゃんが家 族と会えたことは幸せだろうか。」に ついて自分の考えとその理由をノート に3行程度で書かせる。理由は複数並 べてもよいこととする。</p> </div> <p>(読) ちいちゃんの行動をもとにしながら 幸せかどうか自分の考えを持つことがで きたか。(ノートの記録)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「幸せ」「幸せでない」のそれぞれの意見 を大切に扱いたい。「なぜそう思うのか」 「本文のどこからそう思うのか」などの考 えのわけをはっきりさせて、話し合いで 関わらせていく。 ・どちらか一方に考えが偏った場合は、教 師がもう一方の考えを示し、話し合っ ていく。 ・ネームプレートの活用と板書の工夫によ って、誰がどんな考えか、誰の考えと似 ているか、証拠の文は何なのかなどわか るようにして、友だちと関われるように する。 ・相手の考えに対して質問をさせたり、比 べたりしながら考えを深めさせたい。 ・ちいちゃん一人でのかげおくりであるこ と、戦争で家族が引き裂かれ、会いたく ても会えない状況になってしまったこと を振り返りさせたい。 ・「夏のはじめのある朝、こうして小さな 女の子の命が、空にきえました。」から、 ちいちゃんがなくなったことをとらえさ せ、とても悲しいかげおくりであることを 気付かせる。 ・1の場面のように家族4人が生きて会え、 かげおくりができれば幸せだったこと、 戦争がなければ幸せにくらせたことを児 童の言葉でまとめさせ、家族の大切さと 戦争がもたらす悲しさをとらえさせたい。
<p>ま と め る</p>	<p>3 学習のまとめをする。</p> <p>(1)話し合ったことをもとにして、読み取 ったことを書きまとめる。 ○今日、学習したことをもとに、ちい ちゃんは「幸せかどうか」書きまとめま しょう。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>●意見交流したことや板書をもとに、今 日の学習のまとめをノートに5行程度 にまとめる。</p> </div> <p>(読) 幸せかどうか、ちいちゃんの思いや 戦争がもたらす悲しさをもとにして、自 分の考えをまとめることができたか。(ノ ート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すぐに書き出せない児童には、書き出し

ふかめる 10分	○発表してもらいます。	を示したヒントカードを渡して支援する。 ・机間巡視し、ちいちゃんの願いや本当の幸せについて書きまとめている児童に発表させる。 ・今日の学習をもとに、気持ちを込めて読ませたい。(指名読み)
	4 まとめの音読をする。	
	5 学習の振り返りをする。	
	6 次時の学習内容を知る。	

(4) 具体の評価規準と指導の手だて

観 点	A	B	Bに至らせるための手だて
読みの能力	<ul style="list-style-type: none"> たった一人でかげおくりをするちいちゃんの様子や願いから読み取ったことを友達の考えと交流させながら、家族の大切さや戦争がもたらす悲しさを読み取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> たった一人でかげおくりをするちいちゃんの様子や願いから読み取ったことを友達の考えと交流させ、ちいちゃんの思いを読み取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人でかげおくりするちいちゃんの行動にサイドラインを引かせ、その状況と様子をとらえさせる

7 板書計画

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">死ぬことでしかねがいかなえられなかった ちいちゃんの悲しさ</div>	<p>◎ 本当の幸せとは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家ぞくといつしよに生きてかげおくりができること ・ せんそうがないこと <p>・ とつてもうれしい</p> <p>・ きらきらわらいだしました。</p> <p>・ 小さな女の子の命が、空にきえました。</p> <p>・ ちいちゃんが死んだから</p> <p>・ 家ぞくと会えた</p> <p>・ ねがいがかなった</p> <p>・ お父さんとお母さんとお兄ちゃんが、わらいながら歩いてくるのが見えました。</p> <p>・ 白い空にくつきりと青いかげが四つ。</p> <p>・ 家ぞくいきしょのかげおくり</p> <p>・ お父さん、お母さん、お兄ちゃんの声重なって聞こえだしました。</p> <p>・ たった一つのかげぼうし</p> <p>・ 暑いような寒いようなひどくのかかわっています。</p> <p>・ 体が弱っている</p> <p>・ 暑いような寒いようなひどくのかかわっています。</p> <p>・ 元気がないから</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">ちいちゃんのかげおくり 幸せだろうか。</div> <p>五</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">ちいちゃんのかげおくり 幸せだろうか。</div> <p>幸せである</p> <p>幸せではない</p>
--	---	---